

# 様式2 記載例

(様式2)

整理番号

A29-1

## 【チェックリスト】

		設備メーカー（製造事業者）記入欄	証明者 チェック欄
販売開始要件の確認	該当設備は、取得等をする年度から起算して、10年以内に販売が開始されたものであること。	<p>1. 該当                                      2. 非該当</p> <p>販売開始年月 : 2008年 3月</p> <p>① 販売開始年度 : 2008年度 (※1)</p> <p>取得等をする年月 : 2017年 5月</p> <p>② 取得日を含む年度 : 2017年度</p> <p>②-①= <u>9年</u> が一定期間 (※2) の要件内</p> <p>本設備（機械装置）であれば、取得等をする年度から起算して10年以内に販売されたもの。例えば、2006年に販売開始されたものであれば、10年以内の要件を満たさないため、要件を満たしません。</p>	<p>✓</p>
		<p>ここでいう“年度”とは、1月から12月の事を指します。</p> <p>✓</p>	
該当要件	生産性向上に該当するか 当該設備の一代前モデルと比較して年平均1%以上の生産性向上を達成している。 (※3) 比較すべき旧モデルが全くない場合には、記載不要。	<p>1. 該当                                      2. 非該当</p> <p>&lt;比較指標&gt; (*)以下の1~4までのいずれかの指標で比較。</p> <p>1. 生産効率                                      *以下に具体的に記入する 加工能力の向上</p> <p>2. 精度    *以下に具体的に記入する</p> <p>3. エネルギー効率                                      *以下に具体的に記入する</p> <p>4. その他    *以下に具体的に記入する</p> <p>「生産効率」、「精度」、「エネルギー効率」はあくまで代表例です。様々な機能に対する設備メーカーの創意工夫を促す観点より指標は幅広く認められております。例えば、上記以外にも、処理数、加工量、検査数（検査装置）といったものが考えられます。一方、設備の「金額」などは設備の「生産性」には直接関係しないため、不適用となります。</p> <p>比較すべき旧モデルがない場合は、「生産性向上に該当するか」の欄は記載せず、「販売開始要件の確認」の要件のみで、該当要件への当否判定を「該当」とすることができ、例えシリーズ化された同種同用途のモデルでなくとも、自社内において類似する機能や性能を持った設備があれば、可能な限り抽出して比較を行って下さい。</p>	<p>✓</p>
		<p>✓</p>	

	<p>&lt;指標数値&gt;※比較する指標の数値・単位を記入する</p> <p>○一代前モデル：100kg/h</p> <p>(販売開始年度) ( 2006年 )</p> <p>( 型 式 名 ) ( 2006年 FOOMA-30A )</p> <p>○当該モデル：150kg/h</p> <p>&lt;生産性向上&gt; *以下に数値と算出方法を記入する</p> <p>年 平 均 : 25 %</p> <p>(例)</p> <p>2008年販売の当該モデルの指標（単位時間あたりにパン生地を捏ねる量）が150 kg/hであり、2006年販売開始の一代前モデルが100 kg/hである場合、  <math>\{(150-100) \div 100\} \div (2008-2006) = \text{年平均}25\%</math>  の向上となり、「年平均1%以上」を満たすこととな</p>	
該当要件への当非	1 該当	2. 非該当
		✓

- (※1) 販売開始年度はカタログや仕様書等で確認できる、合理的な時期とすること。  
なお、年度とはその年の1月1日から12月31日までの期間をいう。
- (※2) 一定期間は、機械装置：10年以内、工具：5年以内、器具備品：6年以内、建物附属設備：14年以内
- (※3) 新製品であっても、同類の設備がある場合には比較すること。  
比較する装置が全く無い場合は、類似商品が全くないことを事業経過等から明確に証明すること。  
比較指標がなくとも、生産性等の仕様を示す資料は提出すること。

上記の「販売開始要件の確認」、「生産性向上に該当するか」の2つの要件に関し、両方に「1. 該当」に丸印がついた場合のみ、「該当要件への当非」にも「1. 該当」に丸印をつけてください。  
ただし、比較すべき旧モデルが全く無い新製品の場合における丸印のつけ方は次のようにしてください。  
該当要件「販売開始要件の確認」に該当するか・・・「1.該当」に丸印をつけてください  
該当要件「生産性向上に該当するか」に該当するか・・・「1.該当」、「2.非該当」、<比較指標>の3つのいずれにも丸印をつけないでください  
該当要件への当非・・・・・・・・・・・・・・・・・・「1.該当」に丸印をつけてください